

令和8年度 猪野瀬地区市長と語る会 議事要旨

■日 時 令和8年6月6日（土）午後3時00分～午後4時30分

■場 所 猪野瀬こうみん館

■出席者 24名

1. 市政報告会

2. 意見交換会

1) 市長と語る会での意見について、南部中学校の跡地活用について、福祉バスの運用について

意見	<ul style="list-style-type: none">・他の地区の市長と語る会でどんな質問や意見が出ているのか、主なものを教えていただくとありがたい。・南部中学校の跡地について、猪野瀬地区には小学校がないので、災害時の避難場所としても重要だと思っている。グラウンドや陸上競技場、体育館は地域にとって必要な施設であるし、猪野瀬地区は南部中学校のグラウンドで運動会などでも利用しているので、できるだけ残していただきたい。・福祉バスは老人会でも利用しており、地域活動の活性化につながるため、利用しやすい運用をお願いしたい。
市長	<ul style="list-style-type: none">・他地区では新中学校や災害対応、クマ対策、観光、道路管理などの意見が出ている。内容はホームページやYouTubeで公開しているのでご覧いただきたい。・南部中学校跡地は来年4月の新中学校開校に向けて内部で検討を進めている。避難所については、南部中学校がなくなっても必要な避難所数は確保できる計画である。ただ、グラウンドや体育館についてはスポーツ関係者からも要望があるので、いろいろな意見を整理しながら検討している。すべてを公共施設として残すことは難しいが、必要な施設は残せるよう考えていく。・福祉バスについては、利用条件なども含めて確認したい。今後は新たな交通体系の中で、市もバス車両を3台持つことにしていくので、その中で福祉バスのあり方も考えていきたい。

2) 空き家問題について

意見	自宅の隣の空き家は5年前に雪で小屋が倒壊し、自宅にも影響があった。もう一つ空き家があるが、瓦が崩れかけている。景観の問題だけではなく、動物の住処や防犯面でも心配している。市の方でも除草剤を撒いてくれたりと対応いただいていることに感謝しているが、相続人が多かったり所在不明だったりして、なかなか話が進まないそう。地域住民としては毎日見ていて不安なので、何とか対応を進めていただきたい。
市長	空き家は本当に大きな課題。危険な空き家は17軒ほどあり、市としても対応したい案件を抱えている。ただ、公費解体には1件あたり300～400万円ほどかかり、所有者不明や連絡不能などで進まないケースが多いのが現状である。私の集落では、転出するときには家を解体してもらうようお願いしているため、空き家はほとんどない。そうした地域での声掛けも大事だと思っている。ご相談いただいた案件についても改めて確認し、区長と連携しながら粘り強く対応していきたい。

意見	空き家調査の数字を見たが、実際と少し違うように感じた。区長とも情報共有をしながら調査を進めると正確なものになると思う。空き家は個人財産なので、敷地に入ること自体も難しく、地域がどこまで関われるのか法律的な問題もある。区長としてどのように対応すればよいのか、行政から助言をいただけるとありがたい。
市長	市としても重要な課題と認識しており、今後も様々な方法で対応を進めるので、区長や地域の方々にもご協力をお願いしたい。

3) 家族経営の農業支援について

意見	農村を守るには農業を守ることが大事。特に家の周りがある小さな農地について心配している。今は高齢者が家庭菜園として使っているが、今後耕作する人がいなくなると荒れる。こうした小さな農地は担い手も引き受けにくく、将来的にはクマや小動物の住処になることも心配している。農地の集約や水路整備などができないかと思う。また、農業機械の更新補助は大規模経営向けが多く、家族経営では利用できない制度が多い。家族経営も地域農業を支えているので、支援制度の充実や国・県への要望をお願いしたい。
市長	国の農業政策は産業政策として大規模化を進める方向だが、勝山の中山間地域には合わない部分もある。地域コミュニティを維持する観点からも、国に対して制度改善を求めていると思う。

4) 青果市場のPRについて、中学校給食での地元野菜の使用について、広報のデジタル化について

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル建設の話があったので、勝山青果市場のことを観光客にもPRしてほしい。 ・ 中学校給食では地元の野菜を使用し、地産地消をもっと進めてほしい。 ・ 秋から広報が一部デジタル化すると聞いたが、紙の広報は大事だと思う。高齢者もいるので、なんでもQRコードやデジタルだけにしないでいただきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅横に移転した勝山青果市場は、出荷者が少ないのが課題。もっと活用してもらえよう考えていきたい。 ・ 学校給食では勝山産米を使用しており、地場産食材を取り入れたプラスワン給食も取り入れている。今後も地元食材の活用を進めていきたい。 ・ 広報については、全てをデジタル化するわけではない。お知らせ版の一部を本編に入れながら、区長や班長の配布負担を減らしていく。

5) ジオアリーナのランニングコースについて

意見	ジオアリーナのランニングコースについて提案。今はずっと同じ方向に回っているが、体の歪みにつながる。一定時間ごとに逆回りの時間帯を作るなど、体のバランスをとれる運用にしていきたい。
市長	専門的な視点からのご意見として受け止めた。こういった形ができるか、持ち帰って検討したいと思う。

6) 配食サービスへの補助について、中央公園の駐車場化について、P&Rについて

意見	<ul style="list-style-type: none">・ 地区社協で実施している弁当配食サービスについて、今食材費や調味料費が値上がりしており、現在の補助額では厳しい状況。補助の見直しをお願いしたい。また、夏場は食中毒の危険もあるので、軽くて使いやすいクーラーボックス購入への支援をお願いしたい。・ 中央公園については、遊具だけを残し、他は駐車場として活用するのも一つだと思う。教育会館の庭も更地にするのであれば、そこも駐車場にしてはどうか。・ P & RがJAMに移り、恐竜博物館へのシャトルバスは渋滞対策としては良いが、市街地に観光客が降りて来なくなるのではという心配がある。
市長	<ul style="list-style-type: none">・ 弁当配食の補助制度については内容を確認したい。クーラーボックスの必要性についても理解した。・ 中央公園については、市役所側の一部を駐車場化する方向はあるが、公園全体を駐車場化するという意見は初めて聞いたので、参考意見として受け止める。・ シャトルバスについては、一時は緊急車両が通れないほどの渋滞が発生したため、現在の方式を取っている。今後も継続する必要があると思っているが、待ち時間対策などは改善していきたい。

7) ソフトパワーを活かしたまちづくりについて

意見	<p>昔は地域のことは地域でやっていた。でも今は行政や業者任せになってきており、市民のソフトパワーが弱まっていると感じる。勝山には恐竜という全国に誇れる資源があるので、市民側も協力して、恐竜を活かしたイベントをもっと考えていくべきではないか。何でも「やってくれ」ではなく、市民自身も力を出していくことが大事。そういうソフトパワーを活かしたまちづくりを考えてほしい。</p>
市長	<p>これまでも地域のためにいろいろと活動をしていただいて感謝している。本日いただいた市民の力を活かすまちづくりというご意見は、しっかり持ち帰って、今後の政策の中でも検討していきたい。</p>